

地区目標

ロータリーにもっと誇りを
そして学び DEIの心を持って行動実践しよう

クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！

◆点鐘：遠藤 靖彦 会長

◆ロータリーソング：四つのテスト

◆司会：松本 定重 S.A.A.

◆会場：パレスグランデール



第3027回例会

令和6年9月30日(月)

会長あいさつ

遠藤 靖彦 会長



本日は大津東ロータリークラブの方にお越しをいただいております。だいたい35年近くのお付き合いになるわけでございます。今後とも友好クラブとしてぜひ親睦を図らせていただければと思っておりますので、よろしく願います。

先週から昨日まで、ロータリーに関して出来事がありましたので、今日はその報告をさせていただきます。

先週27日に、金沢西ロータリークラブの60周年が金沢の東急ホテルで開催されました。当クラブからは奥さまを含め19名で参加をさせていただきました。会の中で来賓としての挨拶が5名の方々、そのあと、乾杯の挨拶で私にもお鉢がまわってきました。2次会まで大変歓待を受けて帰ってきたということで、報告を申し上げます。

そしてもう1点、昨日7ロータリークラブのゴルフコンペが開催されました。西ロータリーからは17名の参加ということで、優勝を狙って頑張っておったのですが、私はスタートからOBで戦力外ということになってしまいました。池田さんが個人準優勝ということで、大変戦力になっていただきました。各ロータリー7名のネットのスコアで競うというルールになっております。北が優勝、2位がイブニングで私どもが3位でした。私どもの西ロータリーで戦力として活躍いただいたのが、池田さん、渡辺さん、八鍬さん、五十嵐信さん、半田さん、高嶋さん、高橋勝治さんということになりました。そのような結果だったということをご報告させていただきます。

西ロータリークラブ、どちらかという先般の練習会でも結構いいスコアで回られている方がたくさんいらっしゃいまして、その方々も入っていただければ来年はしっかり優勝できるのではないかと考えております。ゴルフをされる方は上手い下手に関わらず、ぜひ大勢で参加していただければ、もしかするといいハンデが付いて上に行けるかもしれない。「もしか」を期待して、来年頑張ってください。ありがとうございますというふうな思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたしますと思います。

これからも年末にかけていろいろなロータリーの事業が開催されますので、皆さまのご参加・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

武田 良和 幹事

- 皆さんのお手元によく年次計画書と年次報告書が届きましたが、印刷の段階でちょっとスケジュールの変更等がありまして、この場をお借りしてお詫びをしたいと思います。
- 11月9日・10日の地区大会の件でございますが、長井までの送迎バスの予約をしておりますので、また再度皆さまにご案内を申し上げます。ぜひご参加をお願いします。
- 9月14日に蔵王の樹氷プロジェクト、苗床作りということで笹刈りをやってまいりました。また来月もあるようですので、日程が決まりましたら、ぜひ皆さん奮ってご参加をよろしくお願いいたします。

委員会報告

職業交流委員会

八鍬 建三 さん



次回の球風会の案内をさせていただきます。年越して4月12日土曜日でございます。蔵王カントリーを予定しておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。

なお、7ローターのゴルフコンペで、トビ賞が残念ながら西ロータリーが一番少ないような状況でした。また頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたしますと思います。

親睦・家族委員会

三浦 達雄 さん



皆さまに1か月ほど前にお選びいただきました「大切な方へのギフト能登からの贈り物」というタイトルのお品物が、明日、皆さまのご自宅のほうに到着いたします。ただし時間指定していないものですから、もしお受け取りできなかった場合は不在票が必ず入っていると思いますので、連絡して必ず受け取っていただきたいと思っております。その上で、ご家族でおいしい能登のものを食べていただき、能登の1日でも早い復興を祈っていただきたいと思っております。

ニコニコ BOX

〈9月30日〉

遠藤靖彦会長／大津東ロータリークラブの皆さまようこそ本日の例会で遠方よりようこそお越しいただきました、ありがとうございます。今後とも友好クラブとしてお付き合い、よろしく願いいたします。9月27日に金沢西ロータリークラブの60周年の会が開催され、19名で参加してまいりました。担当の菅原委員長の対応ありがとうございました。昨日7ロータリークラブゴルフコンペが開催されましたが3位でした。残念。今日は美術館館長の大澤様に卓話をいただきます。よろしく願いいたします。

武田良和さん／大津東ロータリークラブの皆さま心から歓迎申し上げます

この度はご遠方より当例会にご出席いただきありがとうございます。友好の絆を深める機会となりますようよろしく願いいたします。

大津東ロータリークラブ様／滋賀県大津から参りました。今後ともよろしく願い申し上げます。大変お世話になります。

五十嵐信さん／大澤館長をお迎えして

敬愛してやまない大澤さんをお迎えできて大感激です。また遊んでください。

富田浩志さん／金沢西ロータリークラブ60周年式典に参加させていただき感謝申し上げます。

友好クラブ一同／歓迎と感謝

大津東ロータリークラブの皆さま、ようこそ山形においでいただき、感謝申し上げます。また先週末の金沢西ロータリークラブ60周年式典に参加いただきました皆さま、ありがとうございました。おかげさまで金沢西の会長様からも、山形西の70周年には大勢で駆けつけたいと申し出いただきました。引き続き友好の輪を広げてまいります。

市村清勝さん／国宝羽黒山五重塔、令和大改修が終わりました

昨夜、遷座式に参列して、2年間に渡る令和の大改修を無事に終えることができました。ニコニコより少しシクシクです。

坂部登さん／大変お疲れ様でした

金沢西ロータリークラブ60周年、7ロータリークラブゴルフコンペ、本日の例会と3連チャンで週末からお疲れ様でした。大澤さんようこそ西ロータリークラブへ。お話し楽しみにしておりました。

新藤幸紀さん／高坂知甫パストガバナーを偲んで

9月28日高坂知甫メモリアルコンサートに行ってきました。作曲家の三大Bと言われる、バッハ、ベートーヴェン、ブラームスの曲、そしてメンデルスゾーンの曲を楽しんできました。拍手で手が痛くなるほどの大盛り上がりでした。

八畝建三さん／7ロータリークラブゴルフコンペ参加御礼

9月29日の7ロータリークラブゴルフコンペに17名参加していただきました。結果、団体3位でした。来年はぜひとも優勝を勝ち取りたいです。参加ありがとうございました。

ゲスト卓話



美術館へ行こう！ 「山形美術館 60周年」

大澤 賢史 さん

《公益財団法人山形美術館 館長》

ただいま紹介いただきました、山形美術館長に6月26日に就任いたしました大澤でございます。昭和55年に県庁に入庁しまして40数年間、最後の12、3年は、村山総合支庁の産業経済部長、そして商工労働観光部長を務めました。あとは観光文化スポーツ部長、平成30年から病院事業管理者を任されまして、県内の4つの県立病院の運営を6年間やらせてもらいまして、その間にコロナ、新庄病院の建設もありました。そんないろんな思い出が詰まっておりますけれども、その節も皆さん方には大変お世話になっております。ありがとうございました。

今日は皆さんのお手元に「山形美術館へ行こう」をご覧いただければと思います。平成29年に観光文化スポーツ部長、知事から「文化の条例ほしいよね」ということで作ったのが山形県文化基本条例であります。平成30年3月20日に施行になりましたが、その前文を条例では初めての試みでした。とにかく個々の文化に関する思いをこの前文で述べたいということで、101万県民は山形県の文化についてもっともっと誇りを持って、それを認識して、見たり、感じたり、味わったり、いろんなことができるということでもあります。

それで、ルサンチマンの克服と書かせてもらいましたが、かつての思想家キェルケゴールとかニーチェの言葉で、簡単に言えば妬み根性、嫉み、負け犬根性、そういう思いから脱却したい、それを克服したい、そういう気持ちでこの前文を作っております。最初は百名山のうちの6つ。鳥海、朝日、月山、蔵王、吾妻、飯豊、山形県にあるんですね。これすらもなかなか県民にはご理解いただけていないし、あとは母なる川最上川が1つの県内を流れる川としては日本で唯一、一番長い川になります。ここが県内を潤っております。そしてここに特筆すべき偉人、斎藤茂吉。日本一の歌人です。歌人としては世界一ということになるので、ぜひ子どもたちにはこのあたりを覚えてほしいなど、ここに3つの歌を載せております。どこの法律にも歌が3つ載っている法律なんてありません。そこに私の気持ちを、この辺で汲んでいただければうれしいなと思います。

そんなことで、子どもたちが未来にすくすくと育まれるためには、山形県にはこんないろんな自然や文化があって、それを誇りにしていいんだよと。何も東京が一番だと、そんなふうに思わなくていいんだと。山形を誇りに思えばもっともっと101万は元気になれるし、101万がもしかしたら増えていくかもしれない。幻想的なことではありますが、そんな希望をわれわれは持って子どもたちを育てていきたいと、そんな思いを込めてあります。

次に山形美術館についてのお話になりますけれども、まず第1番目は公立美術館より一段と幅広い県民の美術館。全国47都道府県のうち、都道府県立の美術館がない県が、山形県と鹿児島県だけだと認識しています。それがなにも悪いということじゃないんです。どちらかというと県の美術界が最初にムーブメントを起こしているわけですけれども、そのあと山形新聞・山形放送の服部敬雄さんが中心となって建設運動を起こし、山形新聞・山形放送、そして山形市、山形県、この3者がお金を出し合って作るんですね。1974年になると、日本の公の文書の中に第3セクターという言葉が出てくるんですけれ

ども、それよりだいぶ前にこの山形美術館というのは第3セクターの形でできてくるわけでありませう。なにも県立の美術館がないから残念がることはない。そして逆にいろんな県美展やら総合書道展、そして県写真展、県民のための公募展をやっていますし、みんなに開かれた美術館だということでもあります。

これは昭和39年東京オリンピックが開かれた年でもあります。そして新幹線が開通しています。そんな年に美術館は開館するのですが、その年の新潟地震では全然びくともしなかったという話を聞いております。そこから数えて今年が60年になっているわけでございます。最初は、山形美術博物館という名前でありました。これを昭和54年には県立博物館ができて、美術の部分で特化して山形美術館と改名しております。現在は3階建ての多層民家風の大屋根がある美術館になったわけでありまして、1985年、昭和60年に今の美術館がオープンしております。オープンから39年ですので今の建物になって40年、美術館になって60年というそんな時間感覚になっております。

この美術について、新米館長なので私なりに感じたことを申し上げますと、絵画とか彫刻とか版画、工芸、写真、書、これはその「もの」としてそこにあるんですね。スタティクスな動かないものとして、これに対して音楽であるとか文芸、音楽というのは、交響楽は40分くらいで演奏される。あとは文芸となると、その小説を読む時間がありますね。200ページの小説であれば2、3時間かかって読めるわけですね。あとは総合舞台、映画、そうした芸術もあります。そういうものは時間芸術と言われております。それに対してそこに「もの」が絵としてある、彫刻としてある、書としてある、こうしたものは空間芸術とかあるいは視覚芸術、その美術品の前に来て、見て、感じてほしいということを出発の提言に書かせてもらいました。ぜひそうした取り組みを101万県民にやってほしい、それが私の気持ちであります。

それから3つの県展がありますよと。県立ではなくて今の第3セクター的な美術館になっているということでもあります。

それから3つのコレクションの話になります。

山形美術館ができる時のキーマンというのが何人かありまして、もちろん服部敬雄さん、当時の県知事は安孫子藤吉さんです。それから山形市長が大久保傳藏さんだと思いますね。あとは山形銀行の長谷川吉三郎さんという方、おそらく中枢をなして山形美術館というののできてきたのかなと。長谷川さんは日本一の紅花商人です。その方が非常に美術品に関して気持ちのある方だったと。それで、佐伯泰英さんという方が書いた『居眠り磐音』という本があるのですけれども、大河時代小説が1巻から50巻まであって、その中の第26巻に「紅花」というのが出てくるんですね。この1巻分が全部山形と関わりのある話になっていますので、ご興味のある方はぜひ『居眠り磐音』の第26巻をお読みいただければと思います。板谷波山の作品も長谷川家にはたくさんありますし、われわれの美術館にも寄贈してもらっています。長谷川さんが所蔵していたものを美術館に寄贈したいというようなお話があって、百数十点ご寄贈いただいた。これが丸山長谷川家、今でいう吉茂さんのお宅が丸山家です。もう一方で長谷川吉内さんという、こちらは殖産銀行の頭取をされておりましたが、こちらは丸谷長谷川家です。屋号がそれぞれありまして、こちらのほうからも確か80点くらい寄贈を受けておりまして、二百数十点の長谷川コレクションがあります。

この中でやっぱり特筆すべきものは、与謝蕪村、皆さんご存じの江戸時代の俳人がいて、松尾芭蕉を敬愛してやまなかったわけです。この松尾芭蕉が東北を旅するのが奥の細道。イザベラ・バードはその100年くらいあと

に奥の細道、『日本奥地紀行』という本を書いています。イザベラさんは「東洋のアルカディア」と山形県を評してくれました。アルカディアというのは桃源郷ですね。

長谷川コレクションの中に「奥の細道図屏風」という重要文化財があります。長谷川コレクションの中で国の重要文化財になっているのはこれ1つなのです。いろんな芭蕉の短冊とか、正岡子規の書簡であるとか、いろんな掛け軸、英一蝶の掛け軸であるとか、板谷波山の耳かきのような茶杓であるとか、すごいものがたくさんあります。

今度は吉野石膏コレクション。吉野石膏は、社長さんから聞いた話だと、そもそも長井の出なんだそうですね。長井から南陽市の宮内に養子に入って、宮内で過ごしているうちに吉野鉱山を見つけたと。先代の社長が集めた近代フランス絵画、これがまたすごい。ピサロ、モネ、マネ、マティス、セザンヌ、そしてアンリ・ルソー、ブラマンテとか、シスレーもたくさんあります。これは吉野石膏さんから宮内の奥のあたりが吉野鉱山の会社の創業地だということで、わが美術館にご寄託をいただいたと。それでわれわれがそれを管理して県民の皆さま、国内の皆さまにお見せしているのが吉野石膏コレクションです。県外、あるいは海外から来られる方もいます。

もう1つが、服部さんが山新の社長時代にぜひ美術館の礎の部分の絵を収集してみんなに見せようじゃないかと、当時の副社長 岡崎恭一さんがフランスまで行って買い求めてきたコレクションがあります。今はたまたま服部コレクションを岡山県の笠岡市立竹喬美術館に貸し出ししてまして、出張中なので今は美術館に入ると真正面には高橋由一の『鮭図』が展示されてまして、これもまたすごいんです。『鮭図』というのは日本に3つあります。1つは東京芸大にあるのが重要文化財、そしてもう1つは笠岡日動美術館です。不思議なことに芸大の重要文化財の鮭だけは右向きの鮭なんですね。ほかは左向きの鮭になっています。高橋由一作品は、たまたま今出張中のパブロ・ピカソに代わってそこにいて、『剣を持つ男』これも世界で名だたる絵です。隣にはルオーの『告発されたピエロ』と驚くような絵がありますので、ぜひぜひ101万県民に見てもらいたい、これが私の願いであります。

大体時間も来てしまいましたけれども、美術館が目指す姿というのは今言ったようなことを、愛着と誇り、ルサンチマンを克服したい、そして生き生きとした県民生活、これは皆さん公募展なりで応募してほしいし、ご覧いただいで癒されてほしい。あとは人づくりですね。そこに学校の子どもたち、幼稚園の子どもたちに来てもらっていろんなことをやってもらいます。大学の子どもたちも来ます。あとは人と人を結び、地域を元気にする。こんなふうには私達は運営していきたいと思っております。

これが内容ということになりますけれども、お手元に封筒があります。101万県民に見ていただくための取り組みの一端を皆さまにもご協力いただきたいと思います。山形美術館には法人会員の制度があります。年間会費が5万円で、法人の会員として5万円お出しただければ年間10枚の会員券をお渡しできます。社内の方の福利厚生とか、あるいは社内のご家族で見てもらう。それを50週見る、単純に50週で10枚ずつ使えば、500回分使えるわけですので、5万円というのはすごく高い金額ではないということをご理解いただけたらと思います。ぜひぜひ、これが本題のような気もしてきましたけれども、これを機に、法人会員になっていただければすごくありがたいと思います。

今日は貴重な時間をいただきましてベラベラとくだらない話をさせてもらいましたけれども、本当にこんな機会を与えていただき、遠藤会長、ありがとうございます。本日はどうもありがとうございます。

金沢西ロータリークラブ創立60周年記念式典



7 R C 親善ゴルフコンペ

9月29日、蔵王カントリークラブにて7ロータリークラブゴルフコンペが開催されました。



本日出席 (9 / 30)	会員総数	出席会員数
	104名	63名